



### ムクドリ

ムクドリ科〈留鳥〉全長 24cm  
 黒っぽい体でくちばしと足が黄色。草原などでおもに昆虫類を捕食する。夕方にはねぐらに集まる。ねぐらには人が行き交う駅前  
 の街路樹などを利用し、ヒナが巣立つ頃には数百～数千羽の集団になり、騒音や糞の被害が発生する。



### シロハラ

ヒタキ科〈冬鳥〉全長 25cm  
 背中が茶褐色で腹は淡い色。林や樹木の多い公園などに生息し、地面を跳ね歩きながら落ち葉の下や土中からミミズ類や昆虫の幼虫などを捕食したり、植物の種子なども食べる。西原やいろは親水公園の斜面林にいる。



### アカハラ

ヒタキ科〈冬鳥〉全長 24cm  
 背中がオリーブ褐色で胸と脇が橙赤色。シロハラと同じような環境に生息し、落ち葉の下や土中のミミズ類や昆虫の幼虫、植物の種子などを食べる。シロハラより警戒心が強い。人が近づくと、木の上に避難し「ツィー」と強く鳴いて飛び去る。



### ツグミ

ヒタキ科〈冬鳥〉全長 24cm  
 腹は白地に黒斑があり、白い眉が目立つ。林や農耕地、川原、草地、庭など、地上をチョンチョンと跳ね歩いては立ち止まり胸を張る行動をくり返す。土中のミミズ類や昆虫の幼虫、植物の種子などを食べる。比較的警戒心が弱いのでじっくりと観察できる。